

# 令和2年度 歯ッピ大会イン小平・清瀬 小平市内の受賞取組一覧

受賞者及び施設の皆様、おめでとうございます！

## 【施設部門】5団体受賞

### ◆社会福祉法人黎明会 障がい者支援施設 澄水園

当園では、園のかかりつけ歯科医と歯科衛生士が密に連携し、以下のような取組を行っている。

- ①かかりつけ歯科医による月2回の訪問診療と、歯科医による年1回の定期歯科健診
  - ②2ヶ月に1回摂食嚥下専門医による摂食嚥下の指導
  - ③園の歯科衛生士が週1回のプロフェッショナルクリーニングを利用者全員に行う。利用者の口腔内状況に適した口腔ケア（ブラッシング、歯肉マッサージ、口唇マッサージ等）を提供している。
  - ④昼食前（週3回）には、園の歯科衛生士が食事の準備体操となる口腔体操（パタカラ体操）を行う。
  - ⑤月2回、園の歯科衛生士が口腔機能の維持向上を目的とした咀嚼筋の訓練と唾液腺マッサージ等の口腔体操のレクリエーションを行う。
  - ⑥年2回、園の歯科衛生士による職員向けの口腔ケアの研修を行う。
- 園全体で一体となり、上記の取組を行うことで利用者の口腔の健康状態を維持することができている。

### ◆社会福祉法人未来 夢の樹みどり

歯みがき介助を利用者全員に実施している。

### ◆社会福祉法人未来 夢風船

利用者全員への歯みがき介助と、歯肉炎予防を目的とした歯茎マッサージを1名の方に実施している。

### ◆社会福祉法人未来 ワークセンター夢の樹B

歯みがき介助を希望した利用者に実施している。

### ◆社会福祉法人なごみ福祉会 クラブハウスはばたき 地域活動支援センターはばたき

府中市で診療されている矢島千里先生をお迎えして、職員向けの「歯磨き講習会」を実施している。今年は9月15日、10月20日の2回開催しており、11月10日にも開催する予定である。この講習会のおかげで、歯磨きの正しい仕方を学び、利用者一人一人への個別指導に当たることができている。

## 【個人部門】10名受賞

### ◆T.A. 様

自宅から近い地域の一般の歯科に通院し、定期的に健診を受けている。もうすぐ親元を離れて、グループホームでの生活が始まるので、歯科の健康を保ってほしいと思う。

#### ◆S. A. 様

東大和療育センターに通院、定期健診を受けている。歯の隙間が多かったり母の仕上げ磨きを嫌がったりするが、定期健診のお陰でむし歯はない。家庭で対策ができない分、通院を続けることが歯の健康につながると思う。

#### ◆Y. I. 様

緑成会整育園に2か月ごとに通院し、定期健診とブラッシング指導を受けている。本人が磨いているが、全体を磨くことが出来ないので、母が再度の歯磨き&丁寧な仕上げ磨きを行っている。また、作業所にも歯ブラシを毎週持参し、昼食後に歯磨きをするようにと本人と話しているので、頑張っていると思う。

#### ◆R. K. 様

小児の頃は市内の平山歯科で、長い間丁寧な診察を受けてきた。親知らずが斜めに生えてきたことから、東大和療育センターの通院も始まった。抜歯は自立生活への準備のために必要だと思うが、コロナのために抜歯の機会を逃している。現在は本人磨きの後、親知らずがむし歯にならないように母が磨いている。

#### ◆Y. K. 様

昭和病院をかかりつけ医として、2-3か月ごとに定期健診を受けている。朝夕の食後に歯磨きをした後に、母が電動ブラシで仕上げ磨きをしている。歯周病の予防にも注意し、歯科衛生士からも指導を受けている。

#### ◆H. T. 様

歯磨きは本人のこだわりで、毎日3-4回、20分以上かけて行うため、歯ブラシが1週間ともたなかった。みその歯科に連れていったところ、奥歯に進んだむし歯があり、歯と歯の間が磨けていないことに気づいた。時間や回数よりも正しいやり方で磨くことの大切さを痛感した。歯医者は初めてだったが、先生方の上手な対応のお陰で通院を嫌がることなく治療を終えた。現在も磨き残しが気になるので、3ヶ月ごとに診てもらっている。

#### ◆T. M. 様

幼い頃からむし歯が多く、地域の歯科に通院していた。通院を拒否されたことをきっかけに、東大和療育センターに転院し、現在も治療とケアを受けている。コロナで中断した状態ではあるが、治療の再開を望んでいる。

#### ◆E. Y. 様

9歳から現在まで、練馬区の伊藤歯科医院に通院している。初回は診察台で口を開けるまでだったが、徐々にリラックスしてむし歯の治療を受けられるようになった。30歳代になり歯周病予防のため、現在は月1回の歯垢除去を受けている。就寝前は、本人が歯間ブラシと歯ブラシを使って歯磨きをしている。

#### ◆H. Y. 様

緑成会整育園に家族全員で通院している。毎回新品の歯ブラシによる歯磨き指導から始まり、歯茎のチェック、歯石歯垢とり、機械での茶渋磨きと徐々に1回の通院で出来ることが増え、今年はフロスまでできるようになった。歯科治療はとても楽しい時間のように、予防歯科に徹した歯医者が何よりも定期通院を続けている。

#### ◆D. Y. 様

週末は家で歯磨きを行い、平日の毎食後はグループホームや作業所で磨いてもらっている。東大和療育センターで半年ごとに定期健診を受けている。療育センターでは水流下で吸引しながら磨くので、終わるととても良い顔をしている。食べるのが大好きなので歯は大事にしたい。また、ここ何年もむし歯はできていない。